

略年表～VW(フォルクス・ワーゲン)製ディーゼル車の排ガス不正事件

	エコカーには電気自動車、ハイブリッド車、燃料電池車などがあるが、欧州ではディーゼル車が普及している。ディーゼルエンジンは燃料が軽油であるため燃費がよいが、煤塵やNO _x （窒素酸化物）が出やすいため排ガス浄化装置を付けなければならない。しかし、これを使うと燃費が悪化し煤塵もふえるというジレンマがある。VW社はディーゼル車をエコカーの主力にして、世界販売を拡大する戦略をとってきた。
2007	退任に追い込まれたベルント・ピシュツリーダーの後任に、マルティン・ヴィンターコーンがVW社長に。
2008/07	VW社長ヴィンターコーンが、米国での新工場建設を決める。
2008	VW車「ジェッタ」のディーゼル車が米国で、クリーン・カー・オブ・ザ・イヤーを不正に受賞。
2011/05	VW社長のヴィンターコーンは、テネシー州チャタヌーガ市の新工場の開所式（投資額10億ドル、雇用1万人）で、2018年の米国での販売を3倍強の100万台にすると宣言。70年代の「ゴルフ」の現地生産の失敗からの雪辱を狙った。
2013	ICCT（クリーン交通の国際協議会、職員40人）は、市販車の（試験台上ではなく）公道での排ガスのNO _x （NO, NO ₂ , N ₂ O ₄ など窒素酸化物）の調査をウェスト・バージニア大学に依頼。VWの「ジェッタ」「パサート」、BMWの「X5」がレンタカー会社で無作為に選ばれ、公道での測定が始まる。
2014/03	ICCT事務局長のドリュー・コジャックは、VWの「ジェッタ」と「パサート」の公道でのNO _x の排出量が規制値の20～35倍である（X5は規制値内）との調査結果について、カリフォルニア州のCARB（大気資源局）とEPA（連邦環境保護局）にメールで通報。両局は確認を求めたが、VWは「測定方法に問題がある」と説明を拒む。 CARBは、試験台上では排ガス浄化装置が作動し、路上では作動させないという、違法な制御ソフト（デフィート・デバイス）を搭載していると認定。
2014	VWの世界販売台数が1014万台で、トヨタと9万台差に迫る。
2015/05	CARBがVW社のNO _x を再調査し、改善がないことを確認。
2015/08	EPAが、改善しないVWに、「2016年型車を販売させない」と通告。
2015/09/03	VWが不正ソフトの搭載を認める。不正ソフトにより実走行でも排ガスが浄化されるように偽装し、同時に燃費やエンジン出力などの値を高くした。
2015/09/18	EPAは、VWのディーゼル車5車種48.2万台が違法であるとしてリコールを命令。制裁金が2兆円以上との試算も。
2015/09/22	VWが、不正車は全世界で1100万台、欧州で850万台あると公表。
2015/09/23	VWの監査役会（最高意思決定機関）が、ヴィンターコーン社長を解任、後任にマティアス・ミュラー。
2015/09/29	米テキサス州ハリス郡がVWに対して、大気汚染を理由に1億ドルの損害賠償訴訟を起こす。その後、ウェスト・バージニア州、消費者、投資家など数十件の提訴が続く。VWの負担は最大で778億ユーロ（約10兆円）になるとクレディ・スイス証券が試算。
2015/10/08	独検察が、VW本社を自宅捜索。「ディーゼル車の排ガス不正に関する文書やデータを押収するため」。
2015/10/08	米国VW社長ミヒャエル・ホーンに対する米国下院の公聴会。「背信行為だ」「不正車を買収し取れ」と批判される。
2015/10/15	ドイツ連邦自動車局が、不正ソフトを搭載したVW車240万台のリコールを義務付け。保有者の希望の有無に関係なく。